

ま え が き



毎年2回にわたり、県政の主要施策と県財政の現状について公表し、県民の皆様にご理解をいただいておりますが、今回は、平成30年度上半期における財政の状況と平成29年度の決算状況について、そのあらましをご説明申し上げます。

本年度当初予算は、「準通年型予算」として編成したところですが、当初予算に本格的な肉付けを行った6月補正予算では、未来を見据えた元気な産業づくり、東京オリンピック・パラリンピックや北陸新幹線敦賀開業を見据えた交流基盤の整備・活用と誘客の強化、県民生活の安全・安心のさらなる確保といった点に特に重点を置いて予算編成を行いました。

さらに、9月補正予算では、頻発する集中豪雨に備えた治水対策の強化のほか、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックを見据えた海外誘客の促進など、6月補正予算編成以降の情勢の変化や事業の進捗等を踏まえ、新たな対応が必要となった施策について予算編成を行いました。

平成29年度の一般会計の決算につきましては、社会保障関係経費など義務的経費の増加などにより厳しい財政運営が続いているところですが、職員数削減をはじめ、歳入・歳出あらゆる面で行財政改革に積極的に取り組んできた結果、平成24年度以降6年連続で、基金を取り崩すことなく収支均衡を達成できました。今後も県政の重要課題に積極的に取り組んでいくためには、持続可能な行財政基盤を確立することが不可欠であり、引き続き行財政改革に取り組んでまいります。

皆様の忌憚のないご意見と一層のご協力をお願い申し上げます。

平成30年12月1日

石川県知事 谷本正憲

も く じ

第1 平成30年度上半期の財政状況	2
Ⅰ 補正予算のポイントは何ですか。.....	2
Ⅱ どのような事業が盛り込まれているのですか。.....	2
Ⅲ 予算額はいくらですか。.....	6
第2 平成29年度決算の状況	10
Ⅰ 平成29年度の決算は総じてどうでしたか。.....	10
Ⅱ 歳入、歳出それぞれについて詳しく教えてください。.....	12
Ⅲ 特別会計、事業会計の決算はどうですか。.....	15
Ⅳ 財政健全化に関する指標はどうなっていますか。.....	19
第3 企業会計的手法を用いた財政状況の分析について(本県の財務諸表)	23
Ⅰ 作成した目的は何ですか。.....	23
Ⅱ 行政コスト計算書から何がわかるのですか。.....	24
Ⅲ 貸借対照表から何がわかるのですか。.....	26
Ⅳ 純資産変動計算書から何がわかるのですか。.....	28
Ⅴ 資金収支計算書から何がわかるのですか。.....	29
資料編	31